

平成 26 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	消防課					
基本構想	交通環境と防災対策の向上		重点的方針	3. 「安全・減災都市二宮」づくり				
分野別方針	(1) 消防・救急活動の充実強化		実施計画事業	1) 消防・救急活動事業 (No.68)				
予算等事業名	警防活動経費							
目的	消防・救急救助活動業務の高度化に伴い、円滑な活動と事業の充実を図り、安全・安心の町づくりを進めます。							
内容	・消防活動に必要な設備の保守・維持の管理を充実して災害に備える。							
根拠法令・条例等	・なし							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか								
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由								

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる			<input type="checkbox"/>	② 削減は困難			
理由								

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる			<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難			
理由								

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 計画未実施のため継続の必要性がない(休止・廃止)						
	【説明】						

総合評価

実績	・住民による初期消火のため街頭消火器40本を更新整備した。 ・119番通報から円滑な現場活動が図れるように、指令装置の整備や消防無線等の保守点検を実施している。						
中間評価との相違点							
事業指標(数値指標)	点検回数						
前期(27年度)目標値				15	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】		
単位:	回						
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	消防活動に必要な施設や設備の保守、維持管理を充実し災害に備える。			
	5						

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		9,480	9,293				
財源内訳	一般財源	9,480	9,293				
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 ・住民の生命、身体、財産を火災等の災害から守るために必要である。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 ・町により管理されなければ人員及び施設、設備の維持がきかない。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	A
	【説明】 ・消防力を最大限に発揮し、安全・確実・迅速な活動で安心、安全に貢献している。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 ・丁寧な資機材の取り扱いに心がけて経費の節減に努めている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 ・住民生活の安全、安心を確保するうえで適切に事業が行われている。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	・消防指令業務の共同運用開始まで指令装置のリースを延長して対応するが、老朽システムのため保守部品(OS含む)がなく故障対処ができない。 ・気象変動が激しい現代社会において気象観測の重要性は増しており、装置の老朽化はデータの信頼性を失い、インフラ整備の基礎資料としての適性を欠くので、早期(平成27年度)に更新する必要がある。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	・各種災害の事象が複雑多様化する様相を強めている近年では、警防活動は住民の安心、安全な生活を支えている。		
今後の方向性	・災害被害の軽減や活動等を踏まえ、更なる施設、設備の強化に取り組む。		